

水産物来週の見通し（9/27～10/2）

【鮮魚の概要】

高級魚では筋子、ぶりが増加傾向。
近海は、秋鮭の水揚げ増加。
大口はさんまの時期が本格化。

【主要品目】

鮮マグロ ⇒ 養殖本マグロ主体の入荷ですが、輸入メバチマグロ、国産メバチマグロ少々入荷予定あり。
巻き網本マグロは宮城塩釜から入荷予定あり。また、ボストンより天然ジャンボ入荷予定。

ホタテ ⇒ オホーツクのみ水揚げ。水揚げが少しずつ減る中、依然冷凍の柱の引き合いが強いため、浜値は更に高めの傾向。

ホッキ ⇒ 苫小牧中心に胆振、噴火湾、日本海での水揚げ。水揚げ価格ともに安定。

ウニ ⇒ 利尻礼文から日本海解禁中。価格は高め。

貝ツブ ⇒ 襟裳は水揚げ少なめ、価格は高値安定。磯つぶは広尾の水揚げも終了。

キンキ ⇒ オホーツク中心の水揚げ。中国輸出の引き合いで価格は高め。

ヒラメ ⇒ 日本海方面の水揚げあり。価格は安値安定。

毛ガニ ⇒ 釧路解禁につき数量増加の見込み。タラバガニは十勝で始まるが、高値安定の予想。

カレイ ⇒ 真かれいは枝幸の底引が中心。数量、価格は安値安定。
黒かれいはオホーツク中心で、水揚げ少なめ。価格は高値安定。

まいか ⇒ 日高、羅臼、苫小牧中心の水揚げ。水揚げ多め。価格は下げ傾向。

秋鮭 ⇒ オホーツクの水揚げ増加により、価格は下げ傾向。

アサリ ⇒ 厚岸中心で数量は安定。価格は数量の割には高め。

エビ ⇒ ぼたんえびは、主に礼文島からの入荷。羽幌、増毛の水揚げも少々あり、価格は下げ傾向。
噴火湾が解禁されたが、水揚げが見込めず浜高予想。
南蛮えびは、羽幌、増毛、余市より入荷。水揚げは少なめだが浜安傾向。